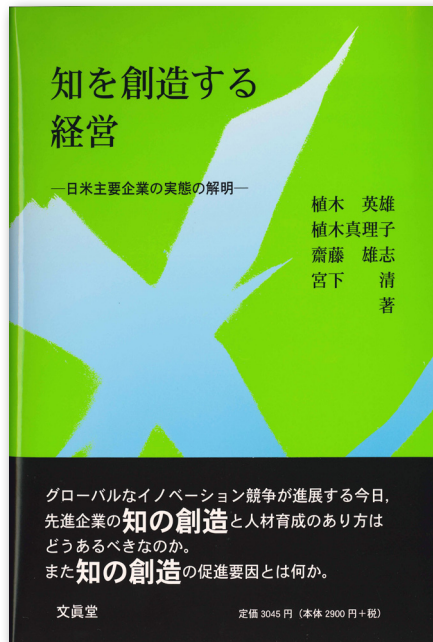


植木英雄・植木真理子・齋藤雄志・宮下 清 著

# 知を創造する経営

— 日米主要企業の実態の解明 —

ISBN978-4-8309-4719-3 A5 版上製 286 頁 定価 3,045 円 (本体 2,900 円 + 税 5%)



## 知の創造と人材育成のあり方を問う研究書

グローバルなイノベーション競争が進展する今日、先進企業の知の創造と人材育成のあり方はどうあるべきなのか。また知の創造の促進要因とは何か。本書は、日米の主要企業における知の創造のメカニズムやプロセスの実態を鋭く解明。日米における主要な自動車企業および情報機器企業 28 社のアンケート調査データに基づく統計解析や、企業の管理者 171 名に対するインタビュー調査結果を丹念に分析。仮説検証と事例研究による定量・定性的な分析と考察を踏まえ、独自の知の創造モデルを提示して知を創造する成功企業の実態を解明。知の創造の理論的、実践的インプリケーションも提示した画期的な研究成果。



文真堂

162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 533  
URL : <http://www.bunshin-do.co.jp/>

TEL : 03-3202-8480  
FAX : 03-3203-2638

## 『知を創造する経営』を推薦

高梨智弘（日本危機管理学会 学術貢献賞『知の経営』の著者）  
株式会社日本総合研究所フェロー  
日本ナレッジ・マネジメント学会副理事長  
国立大学法人新潟大学大学院技術経営研究科 特任教授

1998年に日本ナレッジ・マネジメント学会が創設されて以来、多くのナレッジ関係図書が出版されてきた。事実、ナレッジ・マネジメント導入企業の成功事例、多様な方法論、欧米の情報技術に焦点を当てた専門書の翻訳等、評価できる書が多数世に出た。

しかし、本書のように1106名のアンケート調査の回答と171名の管理者に対するインタビュー調査から得られたデータをベースにし、詳細な事例研究と分析を行ったケースは希である。本書の高度な考察結果は、現代企業経営にとって大変に貴重である。

本書によって、今後の経営改善・業務改善に資する多面な知の視点が明確になった。改善や改革は、どんな理論や手続きを掲げても、知識体系の枠内で振り回しては全く意味がない。顧客、社会から認められる良い経営を継続的に実行できる具体的な重要成功要因を取り込んだ実践力体系としてのナレッジ・マネジメントを理解して初めて改善・改革が可能となる。

本書は、日米における自動車及び情報機器の主要企業28社の実態を解明することで、その実践力のベースとなるデータを示してくれた。

また、経営の全領域における活動について、特に、「知の場」の活用が、リーダーシップ、経営理念、ビジョン、経営戦略、ブランド価値向上、顧客満足等を通して有効であることを証明した。ナレッジ・マネジメントの知の概念を、従来の情報共有等の仕組みや手続き志向から、人の意識や知恵に広がっていることは、実践の場で価値がある。多様な人の組織である現代企業経営の改善・改革の実践力を、仮説検証・事例研究による定量・定性的な分析と「知のピラミッド」をベースにして「知の創造と場の概念」を明確にした「知の経営」（ナレッジ・マネジメント）独特の考察によって、正確に捉まえ実践的な結論に導いている。

本書は、企業経営の改善・改革に有効なきわめて価値の高い書である。

知の経営に関心を持つ読者は、本書の結論を自社の成熟度に合わせて咀嚼し「知識を基盤とした実践される経営行動は、その実践プロセスを通じて組織の知恵となり、組織の力となる」ことを、認識して欲しい。

## 主要目次

- 序 章 プロローグ
- 第1章 研究の目的と方法
- 第2章 知の創造に関する先行研究のレビュー
- 第3章 知の創造を促進するモデルと日米企業の調査結果
- 第4章 日米企業における知の創造に関する意識調査
- 第5章 主要企業の事例研究
- 第6章 知を創造する経営の考察
- 終 章 まとめ展望